

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月22日

上場取引所 大

上場会社名 ゴメス・コンサルティング株式会社

コード番号 3813 URL <http://www.gomez.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員CEO兼COO (氏名) 森澤 正人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO 管理部長 (氏名) 五関 智紀

TEL 03-6229-0581

四半期報告書提出予定日 平成21年11月5日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	188	△17.2	0	—	10	—	8	—
21年3月期第2四半期	228	—	△7	—	△3	—	△2	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	608.67	606.72
21年3月期第2四半期	△154.26	—

(注)前第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	1,507	1,451	96.3	98,960.31
21年3月期	1,495	1,442	96.5	98,351.64

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,451百万円 21年3月期 1,442百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

なお、当社の配当基準日は第2四半期末日及び期末日ではありますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄参照)

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370	△8.5	10	—	25	—	20	—	1,363.61

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 14,667株 21年3月期 14,667株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第2四半期 14,667株 21年3月期第2四半期 14,667株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 期末日における配当予想額は現時点で未定であり、今後の業績等を総合的に勘案し見通しが立った時点で開示いたします。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(6か月)の国内経済は、企業の景況感に回復が見られたものの、円高の進行や雇用情勢の改善の遅れなど、持続的な景気回復にはなお不安材料が残る状況となりました。

このような中、当社の事業においても、需要回復の兆しが見られ始めておりますが、業績への寄与は一部にとどまりました。取引業種別では、カード会社等の決済系企業、人材関連企業、ショッピング系サイト向け業務が増加しましたが、銀行、証券会社向け等の主力業務の減少を補うには至りませんでした。また、サービス別では、サイト構築コンサルティング業務が堅調に推移しましたが、アドバイザリ業務が落ち込みました。

以上の結果、当第2四半期(6か月)の売上高は、188百万円(前年同期比17.2%減)となりました。損益の状況については、売上高が前年同期比で減少したものの、人件費等の固定費削減を図ったことにより黒字転換し、営業利益0百万円(前年同期は営業損失7百万円)、経常利益10百万円(前年同期は経常損失3百万円)、四半期純利益8百万円(前年同期は四半期純損失2百万円)となりました。

サービス別売上高内訳

	前第2四半期(6か月) (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期(6か月) (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		増減率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
サイト構築コンサルティング(ウェブサイトの制作業務)	69,264	30.3	71,048	37.6	2.6
アドバイザリ(ウェブサイトの改善のための分析・アドバイス業務)	77,415	33.9	37,734	20.0	△51.3
サポート(ウェブサイトの修正・更新業務)	16,118	7.1	17,317	9.2	7.4
GPN(Gomez Performance Networks、ウェブサイトの表示速度測定・改善業務)	25,019	11.0	35,848	19.0	43.3
SEO(Search Engine Optimization、検索エンジン対策業務)	39,678	17.4	26,750	14.1	△32.6
その他	668	0.3	192	0.1	△71.2
合計	228,164	100.0	188,891	100.0	△17.2

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、1,507百万円となり、前事業度末比12百万円の増加となりました。その要因は、売掛金増加によるものです。

また、当第2四半期末の純資産は1,451百万円となり、前事業度末比8百万円の増加となりました。当第2四半期累計の利益によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は347百万円となり、前事業年度末比2百万円の減少となりました。当第2四半期累計の利益による資金増加要因と売掛金残高の増加による資金減少要因によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年4月22日に公表いたしました通期業績予想の修正は行っておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

ウェブサイト制作に係る収益の計上基準については、従来、完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」

(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期会計期間より適用し、第1四半期会計期間に着手したプロジェクトから、当第2四半期会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められるプロジェクトについては工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他のプロジェクトについては工事完成基準を適用しております。

この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	347,058	350,012
売掛金	122,904	99,753
有価証券	1,000,000	1,000,000
前払費用	11,568	6,427
その他	2,279	5,707
流動資産合計	1,483,811	1,461,901
固定資産		
有形固定資産	1,173	2,762
無形固定資産	663	413
投資その他の資産	22,209	29,120
固定資産合計	24,046	32,296
繰延資産	—	1,117
資産合計	1,507,858	1,495,315
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,786	23,485
未払金	25,219	26,653
未払消費税等	2,647	—
前受収益	1,124	2,003
預り金	630	648
流動負債合計	56,407	52,792
負債合計	56,407	52,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	613,667	613,667
資本剰余金		
資本準備金	458,902	458,902
資本剰余金合計	458,902	458,902
利益剰余金		
利益準備金	240	240
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	378,641	369,713
利益剰余金合計	378,881	369,953
株主資本合計	1,451,450	1,442,523
純資産合計	1,451,450	1,442,523
負債純資産合計	1,507,858	1,495,315

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	228,164	188,891
売上原価	154,516	129,973
売上総利益	73,647	58,918
販売費及び一般管理費	81,079	58,840
営業利益又は営業損失(△)	△7,431	78
営業外収益		
受取利息	1,055	67
有価証券利息	5,013	11,531
営業外収益合計	6,068	11,599
営業外費用		
株式交付費償却	1,647	1,117
営業外費用合計	1,647	1,117
経常利益又は経常損失(△)	△3,010	10,560
特別損失		
固定資産除却損	—	1,157
特別損失合計	—	1,157
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△3,010	9,402
法人税、住民税及び事業税	475	475
法人税等調整額	△1,222	—
法人税等合計	△747	475
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,262	8,927

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△3,010	9,402
減価償却費	1,049	560
株式交付費償却	1,647	1,117
受取利息及び受取配当金	△6,068	△11,599
固定資産除却損	—	1,157
売上債権の増減額 (△は増加)	△23,353	△23,150
仕入債務の増減額 (△は減少)	572	3,300
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,084	△5,140
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,520	3,717
小計	△28,727	△20,633
利息及び配当金の受取額	6,068	11,536
法人税等の支払額	△12,092	△455
営業活動によるキャッシュ・フロー	△34,751	△9,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	—	△312
差入保証金の回収による収入	—	6,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	6,599
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△17,600	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,600	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△52,351	△2,953
現金及び現金同等物の期首残高	883,503	350,012
現金及び現金同等物の四半期末残高	831,151	347,058

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。